

1 はじめに

私たち館内案内韓国語部会は、主に韓国からの来館者へ韓国語でのボランティア活動を行ってきました。単に韓国語のサービスを提供するのみならず、民間レベルでの日韓交流に寄与する事を目的として活動しました。2011年4月10日の発足式より3年間の活動をここに報告します。

2 活動内容

(1) 館内案内・バックヤードツアー・展示解説

館内案内を基本の活動とし、必要に応じバックヤードツアー、文化交流展示室の展示解説に取り組んできました。

館内案内・バックヤードツアーに関しては1期・2期生が作成したマニュアルを元に部員同士でのロールプレー研修を行い、文化交流展示室に関しては館職員のイ・スジンさんの協力により音声データを作成しました。

シフトについては当番等決めず、各自出来る日時に活動しています。

また、予約に関してはその都度担当者を募り対応しています。



〔館内案内〕

(2) 研修

①韓国語研修

(i) レベルアップ研修

部員を対象に韓国語能力向上を目的とした研修を2011年10月から月に1回実施。

(講師：韓国語部員高橋さん)

慣用表現や聞き取りを学び来館者とのコミュニケーションスキルを向上させることができました。

(ii) 初心者向け韓国語講座

他部会からも参加。

あいさつや簡単な会話の習得を目的にした韓国人講師による講座。

講師：2011年9月 陳さん(韓国語部員)

2012～2013年 イ・スジンさん(館職員)

当初は韓国語部会の初心者で同じ部会のメンバーである陳さんを講師に少人数で開始しました。陳さんの帰国の都合もあり、その後はイ・スジンさんの好意により継続実施しています。また韓国語に興味のある博物館の全部会のメンバー10名が韓国語の習得のみならず韓国文化の習得、時には日本文化の紹介等、お互いに楽しみながら理解を深めています。



〔レベルアップ研修〕

②館外研修

財団のグループ活動支援制度を利用し館外研修を実施。

(i) 2012年3月18日 鷹島・名護屋城博物館見学

東アジア交流史の知識を深めることを目的とし実施。他部会からも多く参加し他部会メンバーとの交流も図れました。

また鷹島歴史民俗資料館の学芸員の臨場感あふれる説明や、名護屋城博物館の韓国語で展示解説をされている担当の方からは、デリケートな日韓の歴史の説明に関してのアドバイスも頂きました。

(ii) 2013年3月17日 手光波切不動古墳・宮地嶽神社奥の宮・宗像大社・海の道 むなかた館見学

展示品が出土した現地を訪れ、今後の活動に生かすことを目的とし実施。実際に目にする事により展示品をより身近に感じる事ができました。

(iii) 2013年9月22日 求菩提資料館・岩洞窟・如法寺・泉水寺見学

文化交流展示室に展示されている銅版法華経、銅箱、経筒等に関する知識を習得し、展示解説に生かすこと及び、平安後期の仏教や求菩提山修験道に関する知識を習得し、展示解説に生かすことを目的とし実施。

他館のボランティア活動を見る事により説明方法や表現方法を参考にし、レベルアップを図ることもでき、部員間のコミュニケーションを図り親睦を深めることもできました。



〔求菩提ゆるキャラ求菩天くんと〕



〔岩洞窟にて〕

(3) イベントの参加等

①九博子どもフェスタ等のイベントに参加

九博子どもフェスタに参加し、韓国の遊びやチマチョゴリ体験を通し韓国の文化を来館者に紹介。この他、伊都国歴史博物館ボランティアとの交流や留学生との交流会、イベント部の七夕まつり等にも参加し、他部会との交流も積極的に行いました。



〔九博子どもフェスタの様子〕

②西谷正先生講演会（博物館＆韓国語部会共同行事）

- (i) 2011年9月10日 日韓交流史の諸段階
- (ii) 2012年9月23日 百済 三都物語
- (iii) 2013年9月1日 高句麗の歴史と壁画古墳及び九州の装飾古墳

海の道むなかた館長、九州歴史資料館名誉館長である西谷正先生を講師にお迎えし、3年に渡り講演していただきました。日本と韓国との文化交流史の知識を深め、理解をより高めることを目的としています。

これにより、韓国の歴史をより深く理解し、韓国からの来館者との交流及び展示解説の実務に生かすことができました。



〔西谷先生講演会〕

当初は本当に引き受けて頂けるのかと心配しながらお願いしたところ、快く引受けて頂き九博のボランティア全員を対象にした講演会の運びとなりました。旧石器時代から連綿と続く両国の交流の歴史や、韓国の歴史を判りやすく講演して頂いています。韓国語部会担当をお願いして今年で三回目を迎え、毎年の連続講座としてボランティア全体の行事として定着しつつあります。

今後も新羅や渤海等の歴史について引き続き講演していただく予定で考えています。

③加唐島プロジェクト

九博の新しい試みとして館とボランティアの合同調査プロジェクトとして2012年2月に発足しました。百済武寧王生誕伝説と加唐島の関連を二年間かけて調査し展示に繋げる事が当初の目的で、ボランティアの参画メンバーは韓国語部会4名、展示解説部会1名の計5名。加唐島を含め周辺島々の調査、島の伝説・伝承の聴取り調査、文献や古地図等の資料調査、海上航路の調査等、様々な方向から調査活動を実施しました。

このプロジェクト活動を通じて、関連する多くの人々との交流や資料等から知識や情報の収集向上は当然として、通常の館内活動では得られない新しい発見や、調査に関するノウハウの習得、メンバー間の連携強化等々、目的への直接＆間接を問わず有意義な体験になりました。機会を与えて頂いた館に感謝しています。

さて肝心の調査結果に関しては、当初の展示の予定から方向転換し、論文として公開することになり現在最終調整作業中です。詳細は九博紀要「東風西声」に掲載予定なのでこちらを参照ください。内容は、古代日韓交流史の一話題として館内案内活動にも展開できると思われますので一読ください。



〔第11回武寧王生誕祭へ参加された韓国の皆さん〕

3 その他

前述2.項の活動内容を参考までに下表にまとめてみました。

No.	項 目	具体的な内容	2011年度												2012年度												2013年度												備 考			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1	館内案内	① 1階館内施設案内																																								
		② バックヤードツアー																																								
		③ 4階展示解説(音声ガイド使用)																																								
2	案内用資料の作成	① 1階用図解マニュアル作成																																								
		② 4階展示室用マニュアル作成																																								
		③																																								
3	各種研修	① 韓国語 レベルアップ研修																																								
		② 韓国語 初心者向講座																																								
		③ 館外研修 (博物館・史跡見学等)																																								
4	イベントへの参画	① 九博子供フェスタ																																								
		② 西谷正先生講演会(部会と館共催)																																								
		③ 加唐島調査プロジェクト																																								
		④ きゅーはくキャラバン																																								
5	その他																																									

4 終わりに

以上の活動を通して私たちは多くの事を学んだと思います。来館者の笑顔は私達の喜びになるだけでなく、広くは博物館・日本の喜びとなります。

日韓関係が悪化の一途を辿る今こそ、人的交流・文化交流が必要で、少しでも日本と韓国の橋渡しが出来ればと思います。

1期が幹となり、2期生が枝を伸ばしてくれた。3期生は立派ではないかもしれないけれど、葉を茂らせる事が出来たと思います。この後は4期生が綺麗な花を咲かせることでしょう。

最後に交流課はじめご支援いただいた方々に心よりの感謝を述べてこの活動報告書を終わりとします。本当にありがとうございました。